

第3回 魅力ある県立短期大学づくり検討委員会

日時 令和6年11月5日(火)
16:15~18:00

会場 県庁6階大会議室

会 次 第

1 開会

2 協議

- (1) 時代の要請に対応した教育内容の更なる充実について
- (2) 独立行政法人化について
- (3) 地域社会への一層の貢献について

3 その他

4 閉会

配布資料

魅力ある県立短期大学づくり検討委員会 委員名簿

第3回 魅力ある県立短期大学づくり検討委員会 座席図

資料1 時代の要請に対応した教育内容の更なる充実について

1-A 産業界等へのアンケート集計結果

1-B 産業界等へのヒアリング調査結果

1-C 高校生へのアンケート集計結果

1-D 進路指導担当者へのアンケート集計結果

1-E 在校生へのアンケート集計結果

資料1-② 現地視察の概要

資料1-③ 論点とアンケート等結果

資料2 独立行政法人化について

資料3 地域社会への一層の貢献について

参考資料

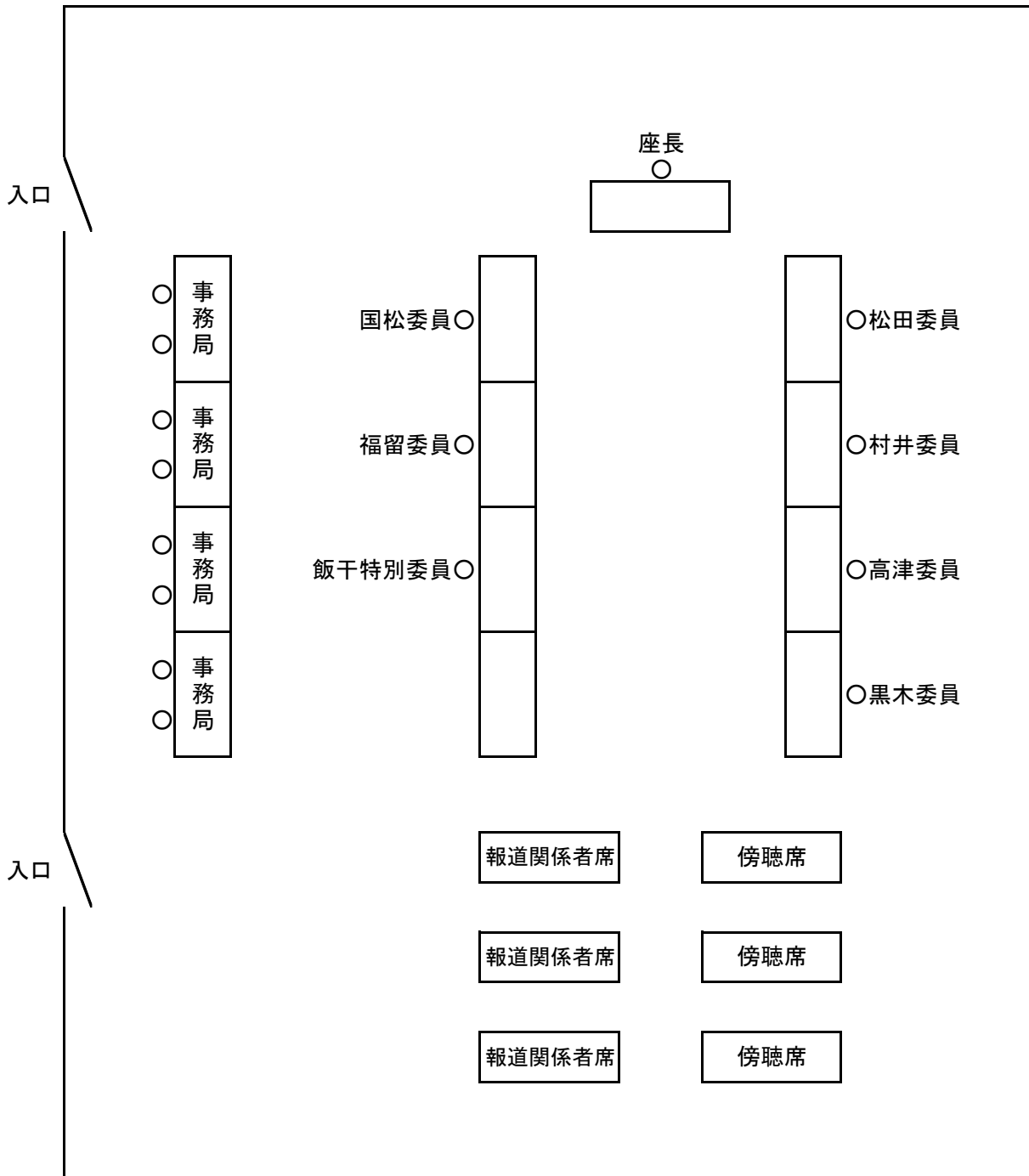
魅力ある県立短期大学づくり検討委員会
委員名簿

	分野	所属・役職等	氏名	備考
1	教育	鹿児島大学法文学部 教授	まつだ ただひろ 松田 忠大	
2		津市立三重短期大学 学長	むらい みよこ 村井 美代子	
3		放送大学鹿児島学習センター 所長	たかつ たかし 高津 孝	
4		鹿児島県高等学校長協会 会長	くろぎ まこと 黒木 誠	
5	経済	鹿児島経済同友会 特別幹事	つまがり さだとし 津曲 貞利	
6		株式会社日本政策投資銀行 南九州支店長	くにまつ しんや 国松 真也	
7		株式会社九州経済研究所 執行役員経済調査部長	ふくどめ いちろう 福留 一郎	
8	県	鹿児島県立短期大学 学長	いしばし あきら 飯干 明	(特別委員)

第3回 魅力ある県立短期大学づくり検討委員会 座席図

日時：令和6年11月5日(火) 16:15～

場所：鹿児島県庁 行政庁舎6階 大会議室



資料 1

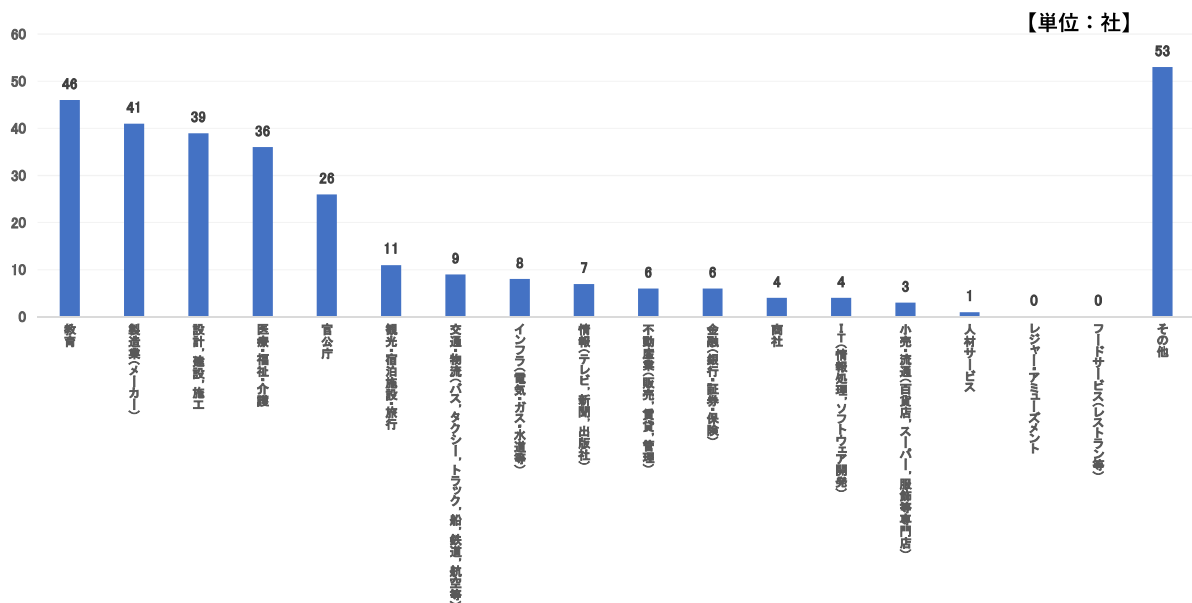
時代の要請に対応した教育内容の更なる充実について

魅力ある県立短期大学づくりに関する 産業界等へのアンケート集計結果

実施期間：令和6年8月7日(水)～9月6日(金)
回答数：300社

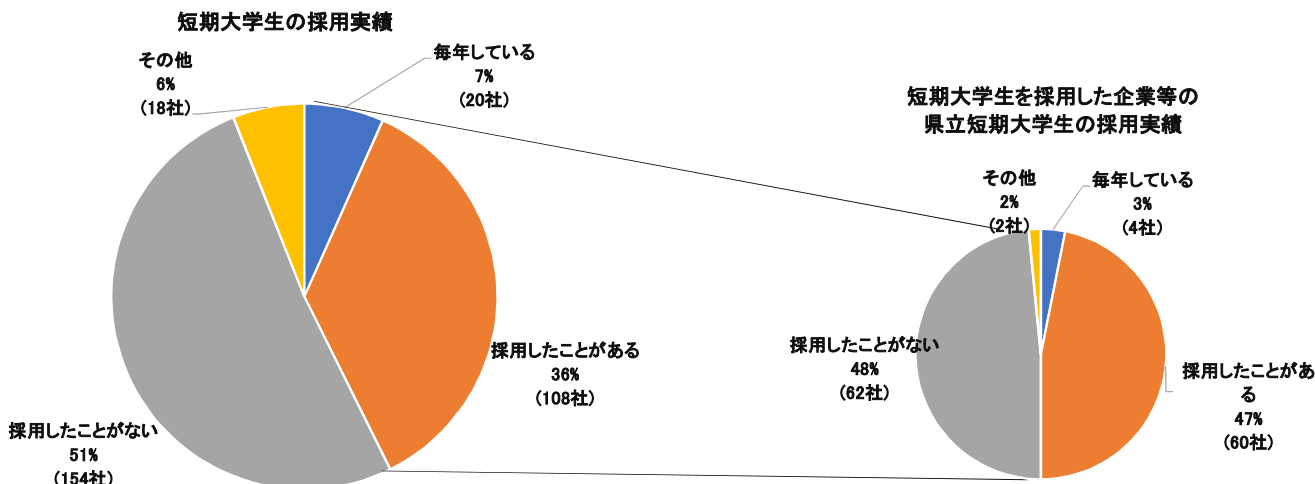
1 回答業種について(一択)

今回のアンケートに回答のあった300社を業種別で見ると、「教育関係」が最も多く、次いで「製造業(メーカー)」、「建設関係(設計・建設・施工)」が多かった。



2 短期大学生の採用実績(平成31年4月以降 / 一択)

回答のあった300社のうち、平成31年4月以降、約4割が短期大学生を採用し、そのうち約5割が県立短期大学生を採用した。



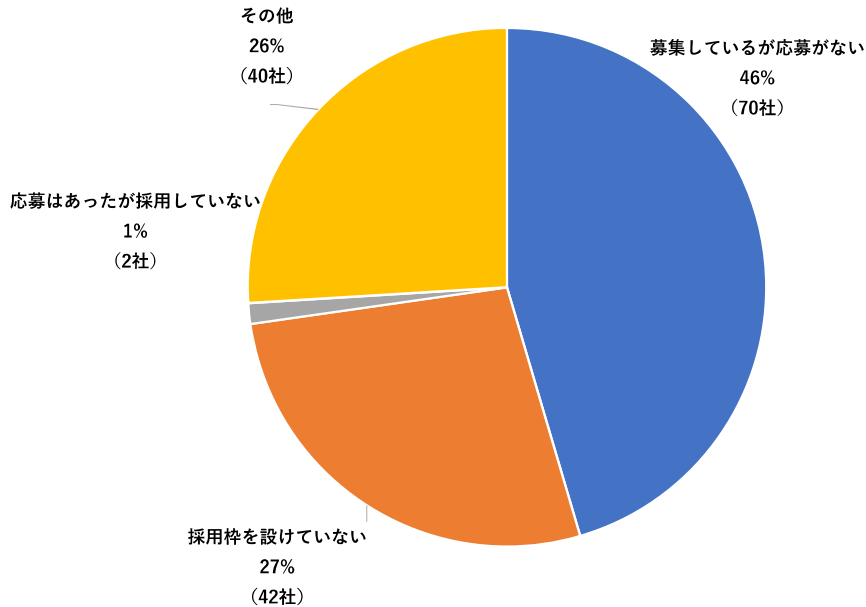
3 短期大学生の採用職種(該当するもの全て選択)

平成31年4月以降、短期大学生の採用実績がある企業は128社あり、各業種ごとの採用職種は、次表のとおりであった。※県短生は内数

回答業種	回答社数	本質問の回答社数	採用職種																														
			事務的職業		保育・教育		販売・営業		サービス		福祉・介護		建築・修繕・塗装・創設等		建築・土木・電気工事		農林漁業		研究・技術		医療・看護・保健		芸術・経営・文化芸術等の専門的職業		配送・輸送・搬送		警備・保安		運送・搬送・包装・選別等		その他		
			短大生	県短生	短大生	県短生	短大生	県短生	短大生	県短生	短大生	県短生	短大生	県短生	短大生	県短生	短大生	県短生	短大生	県短生	短大生	県短生	短大生	県短生	短大生	県短生	短大生	県短生	短大生	県短生			
教育	46	27	2	(2)	25	(8)																											
製造業(メーカー)	41	14	7	(4)			5	(4)	3	(2)							1	(1)													1		
設計、建設、施工	39	8	7	(5)			2	(1)	1	(1)							1														3	(3)	
医療・福祉・介護	36	16	5	(2)	8	(3)															1	(1)											
官公庁	26	21	20	(12)	2												1	(1)													1	(1)	
観光・宿泊施設・旅行	11	6	2	(1)			1	(1)	6	(3)																							
交通・物流	9	3	1	(1)			1																								2	(2)	
インフラ	8	6	5	(4)			2	(2)	1	(1)						1								1									
情報	7	2	1				1																										
不動産業	6	2	1						1	(1)																							
金融	6	5	5	(3)			1	(1)																									
商社	4	1	1	(1)																													
IT	4	1	1	(1)																													
小売・流通	3	1					1	(1)																									
人材サービス	1																																
レジャー・アミューズメント																																	
フードサービス(レストラン等)																																	
その他(自由記述)	53	15	15	(7)			4	(1)				1				2	(1)			1										1	(1)		
合計	300	128	73	(43)	35	(11)	18	(11)	12	(8)	8	(2)	6	(2)	4	(1)	3	(2)	2	(1)	2	(1)	1	(1)	1						8	(7)	

4 短期大学生を採用しない理由（一択）

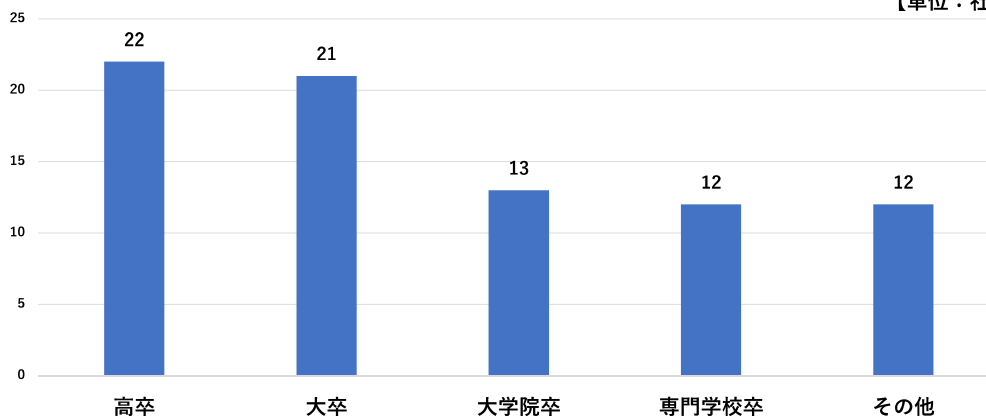
平成31年4月以降、短期大学生の採用実績がない154社の「採用しない理由」は、約5割が「募集しているが応募がない」であり、3割が「短期大学生の採用枠を設けていない」であった。



5 「短期大学生の採用枠を設けていない」と回答した企業が設置している採用枠（該当するもの全て選択）

「短期大学生の採用枠を設けていない」42社のうち、約3割が「大学院卒」を、約5割が「大卒」を、約5割が「高卒」を、約3割が「専門学校卒」の採用枠を設けていた。

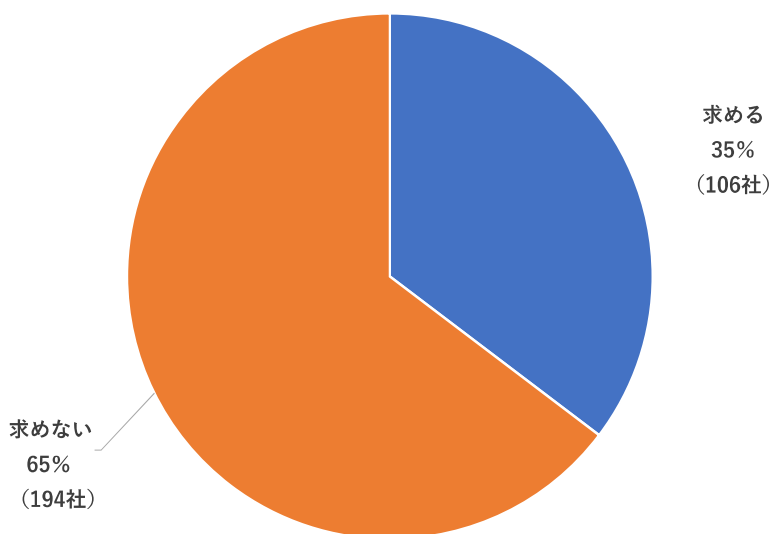
【単位：社】



設置採用枠	回答数	割合
高卒	22	52.38%
大卒	21	50.00%
大学院卒	13	30.95%
専門学校卒	12	28.57%
その他	12	28.57%
短大卒の採用枠を設置していない事業所数	42	100%

6 短期大学生への専門知識(一択)

今回のアンケートで回答のあった300社のうち、106社(35%)が短期大学生に求める専門知識があると回答。



7 短期大学生に求める専門知識(三つまで回答)

「短期大学生に求める専門知識」があると回答した企業は106社あり、各業種ごとに求める専門知識は、次表のとおりであった。

回答業種	アンケート回答社数	本質問の回答社数	求める専門知識																										
			教育	工学	土木建築	食物・栄養	保健	商学	経済学	情報工学	外国語学	観光学	電子工学	社会学	機械工学	法学	国際関係学	農学	生活・服飾	文学	理学	その他工学	史学	芸術	哲学	政治学	商船	その他	
教育	46	35	33			11	6						1						2										4
製造業(メーカー)	41	11						3	3	5	3	2	5	1	3	1				1		1							1
設計、建設、施工	39	17		14				4	2	5	1		1	1				1	1	1	1								
医療・福祉・介護	36	19	8		4	7	1	1					3				1	1											8
官公庁	26	4		3		2									1														1
観光・宿泊施設・旅行	11	4			1				1		3	4	1						1										
交通・物流	9	2						1			1	1																	1
インフラ	8																												
情報	7																												
不動産業	6	4	1	1			1	2		2					3														
金融	6																												
商社	4	1							1											1									
IT	4																												
小売・流通	3																												
人材サービス	1																												
レジャー・アミューズメント	0																												
フードサービス(レストラン等)	0																												
その他(自由記述)	53	9	2	2			4	2	2					1	2	1						1		1					
合計	300	106	44	20	16	15	14	12	12	11	7	6	5	5	4	3	3	3	3	2	2	2	1	1					15

8 短期大学生に求める具体的な専門知識(自由記述・複数回答有)

「短期大学生に求める具体的な専門知識」について、45社から回答があった。

種別	主な内容
外国語学	海外進出を見据えた英語の習得, 英語や韓国語
観光学	観光立県・基幹産業としての観光学
商学	経理・簿記の知識, 行政書士
理学	化学・薬品に関する知識
電子工学	電気関係に係る知識
情報工学	プログラミング・画像解析知識
土木建築工学	CAD, 構造設計, 設備, 測量に関する知識
保健	社会福祉, 介護福祉, 障害福祉
商船	機関士
食物・栄養	臨床栄養学, 調理師・栄養士・管理栄養士に係る知識
教育	児童の教育保育に関する知識, 教職の知識
その他	

9 短期大学生に求める資格(自由記述・複数回答有)

「短期大学生に求める資格」について、131社から回答があった。

主な内容
パソコン操作
簿記・経理
語学
福祉
情報処理
教員免許
土木建築
その他

10 短期大学生に身につけて欲しい力(三つまで回答) ①

「短期大学生に身につけて欲しい力」について、300社から回答があり、「物事に進んで取り組む力(主体性)」が最も多く、次いで「社会のルールや人との約束を守る力(規律性)」、「相手の意見を丁寧に聴く力(傾聴力)」が多かった。

【単位：社】



10 短期大学生に身につけて欲しい力(三つまで回答) ②

業種別の「短期大学生に身につけて欲しい力」は、次表のとおりであった。

回答業種	回答数	短期大学生に身につけて欲しい力													
		主体性	規律性	傾聴力	実行力	柔軟性	状況把握力	課題発見力	発信力	創造力	ストレスコントロール力	計画力	働きかけ力	その他	
教育	46	33	18	15	15	11	9	9	9	2	7	2	3	1	
製造業 (メーカー)	41	32	6	11	17	2	6	11	6	8	6	6	7		
設計, 建設, 施工	39	31	18	7	13	12	4	6	8	8	1	5	4		
医療・福祉・介護	36	19	10	15	7	12	8	6	6	3	6	6	2	1	
官公庁	26	18	12	8	9	5	5	3	4	3	7	2	1		
観光・宿泊施設・旅行	11	9	4	6	2	2	4	1	2	1	2				
交通・物流	9	6	3	6	2	2	2	1	2	1		1	1		
インフラ	8	6	4	2	2	1	2	3		1	1		2		
情報	7	7	3	2	2	2		1		3			1		
不動産業	6	4	3	4	2				1	1	1		1		
金融	6	6	3	2	2	1		1	1	1			1		
商社	4	4	2	1		1	1	1		1			1		
IT	4	3		2		2		1	1		1			2	
小売・流通	3	3	2					1	1	1	1				
人材サービス	1	1	1		1										
レジャー・アミューズメント															
フードサービス (レストラン等)															
その他 (自由記述)	53	30	22	13	17	14	15	8	7	7	4	8	3	4	
合計	300	212	111	94	91	67	56	53	48	41	37	33	25	8	

11 県立短期大学で取り組んで欲しいリカレント教育・リスキリング教育(自由記述・複数回答有)

「県立短期大学で取り組んでほしいリカレント教育・リスキリング教育」について、69社から回答があり、その内容を大別すると、次表のとおりであった。

種別	人間力向上	スキル向上	知識
主な内容	コミュニケーション	パソコン操作	語学（英語，中国語，韓国語など）
	協調性	プログラミング	簿記
	主体性	DX	銀行業務
	積極性	データサイエンス	ファイナンシャルプランナー
	行動力	ITパスポート	金融リテラシー
	理解力	自動化AI関連（RPA）	社会・介護・障害福祉
	思考力	画像解析	建設設備
	アウトプット	接遇・マナー	CAD・施工管理の書類作成
	プレゼンテーション		鹿児島の地理・歴史・文化等
	問題解決能力		

12 県立短期大学で取り組んで欲しい教育内容(自由記述・複数回答有)

「県立短期大学で取り組んで欲しい教育内容」について、82社から回答があり、その内容を大別すると、次表のとおりであった。

種別	人間力向上	スキル向上・人材育成	知識	
主な内容	コミュニケーション	プログラミング	語学	社会・介護・障害福祉
	チームワーク	DX	法学	電気通信
	リーダーシップ	AI	民法	情報セキュリティ
	積極性	接遇・マナー	会社法	防犯対策
	行動力	地域課題解決	観光	地元の歴史・地域経済
	自己表現	インターンシップ	旅行業務取扱管理者	
	プレゼンテーション	グローバルな視点	理系分野 (工学，理学，農学など)	
	ファシリテーションスキル	情操教育	建築士	
	理解力		建築設備の基礎	
	思考力		CAD	
	課題解決力		ロボット工学	
	ストレスコントロール		栄養士	

県内産業界等へのヒアリング調査結果

1 概要

- (1) 調査対象
県短生の採用実績や今回の論点等を踏まえ、7社を選定

業種	県短生の採用実績
官公庁	毎年採用
金融機関	毎年採用
商社	採用実績あり
IT（情報処理、ソフトウェア開発）	無
観光	無
小売	無
サービス業	無

- (2) 調査実施期間
令和6年9月～10月

2 ポイント

- (1) 学生に求める力・専門知識・資格
四年制大学生、短期大学生に限らず、採用に当たっては、資格の有無より人間としての資質（特にコミュニケーション力）を重視する傾向にある。
- 以下、関連意見
- ・ 最近の学生は学ぶ力は長けているが、思考力が乏しく感じる。
 - ・ エントリーシートは上手く書けていても、面接の際、深掘りした質問に対応できない学生もいる。
 - ・ どんなに優秀でもルールを守れないと信用を失墜する。
 - ・ 入社後、教育にそこまで時間がかけられないので、主体性や実行力があつた方がよい。
 - ・ アクティブラーニングやリベラルアーツを積んでいる人は、活躍している印象がある。
 - ・ 海外と仕事をする場合、「言わなくても分かってほしい」では伝わらない。会話の中で課題を解決する力が必要。
 - ・ 社会人にスムーズに適応できるようにパソコンの基礎的なスキルを身に付けていると良い。
 - ・ 海外との取引を考慮した際に、英語などの語学が役に立つ。
- (2) 県短に取り組んで欲しい教育内容
四年制大学生、短期大学生に限らず、上記「(1) 学生に求める力・専門知識・資格」が備わるような教育内容を期待する意見が多く見られた。
- 以下、関連意見
- ・ 同じ環境にいると視野が狭くなりがちなので、例えば他の大学との交流があればよいと思う。
 - ・ 最近はずームによる商談も多い。直接対面する面談とは違うので、そういった経験も積んだ方がよい。
 - ・ 短期大学は2年間しかなので、ビジネススキルを磨くような就職に特化したコースなどがあつてもよいと思う。
 - ・ 企業のSNS発信は、個人のSNS発信とは視点が違うので、学校でも教えてほしい。
- (3) その他
- ・ 採用に当たって男女の区別はしていない。
 - ・ 最近の学生は、仕事内容よりプライベートの充実を重視する傾向がある。
 - ・ 採用試験を受ける時は、もっと企業研究をしてほしい。
 - ・ 県外企業への就職者が多く、人材確保に苦労している。

